

お知らせ

去る令和 7 年 3 月 13 日に一般社団法人関東土地改良測量設計技術協会埼玉県部会が令和 7 年 5 月 15 日に「秩父ミューズパーク」で行われる「第 75 回全国植樹祭・埼玉 2025」へ寄附金を贈りました。

全国植樹祭概要、贈呈の様子は、以下のとおりです。

1. 植樹祭概要等



基本計画 <概要版> 埼玉県

第 1 章 開催概要

本県では、農林水産業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、埼玉県農林水産業振興条例に規定する基本計画として「埼玉県農林水産業振興基本計画（令和 3 年 3 月策定）」がスタートしました。

本計画の下、SDGs の視点も踏まえ、強靱な県土の保全に資する森林整備を進めるため、強度間伐による針広混交林化や皆伐・再造林システムの確立・普及、里山・平地林の整備、県産木材利用の促進等様々な取組を、森林・林業関係者や関係団体、行政のみならず県民全体と共に展開していきます。

こうした中、令和 7 年（2025 年）に、第 75 回全国植樹祭が本県で開催されます。本県での開催は、昭和 34 年（1959 年）の第 10 回以来、66 年ぶり、2 回目となります。

第 75 回全国植樹祭を通じて、本県の緑化運動や SDGs への貢献に繋がる取組などを全国に発信する絶好の機会とし、埼玉県ならではの特色ある有意義な大会にしていきます。

埼玉県における全国植樹祭の開催状況

昭和34年（1959年）4月5日、金尾山（寄居町）において、天皇皇后両陛下をお迎えし、「林種転換」を大会テーマに、第10回大会を開催しました。

この大会では、天皇皇后両陛下がヒノキの苗木をお手植えになるとともに、旧埼玉県林業試験場（寄居町）に移動し、天皇陛下はスギの種子を、皇后陛下はヒノキの種子をお手播きになりました。

また、当日は約7千人の参加者により、ヒノキの苗木、約1万5千本が3.8ヘクタールの敷地に植樹されました。



植樹会場全景（金尾山）



参加者による植樹風景



昭和天皇・香淳皇后両陛下によるお手植え
（ヒノキ）

昭和34年（1959年）に開催された第10回大会の様様

2. 開催理念

- 適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。
- 豊かな川で繋がる山村と都市が、協力して森林・みどりを共有の財産として守り育て、元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。



人工林（飯能市）



金尾山（寄居町）



里山・平地林（狭山市）



駅自由通路（幸手市）



森づくり活動（越生町）

3. 埼玉県の特徴を活かした大会の基本方針

- (1) 全国植樹祭の開催を契機として、豊かなみどりを県民全体で次の世代に引き継ぐという機運を高めて、緑化運動と森林資源の循環利用を推進し、SDGsにも繋がる機会となる大会にします。
- (2) 埼玉県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力を全国に向けて発信します。
- (3) 県民全体で「おもてなしの心」でお迎えし、全国植樹祭に参加される方の心に残るような大会となるよう努めます。

4. 大会テーマ

全国から応募があった2,000点の作品の中から、選定しました。

人・森・川 つなげ未来へ 彩の国

5. シンボルマーク



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」



7. 開催時期

令和7年(2025年) 春季

8. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
埼玉県

9. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員・協力員等を含め、5,000人程度の規模で開催します。

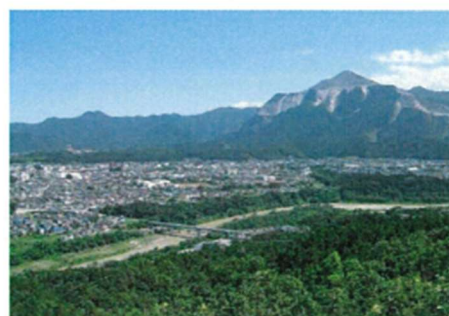
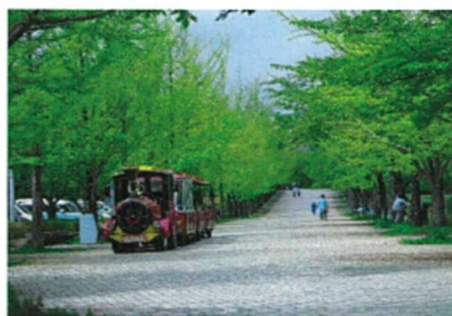
区 分	参加予定者数	内 訳
中央特別招待者	30 人	国関係者、県関係者 等
県外招待者	1,080 人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	2,390 人	県関係者、市町村関係者、学校関係者、 森林・林業・緑化関係団体、森林ボランティア、 公募招待者、県実行委員会 等
実施本部員・協力員等	1,500 人	実施本部員、協力員、出演者 等
合 計	5,000 人	

10. 開催会場

(1) 式典会場

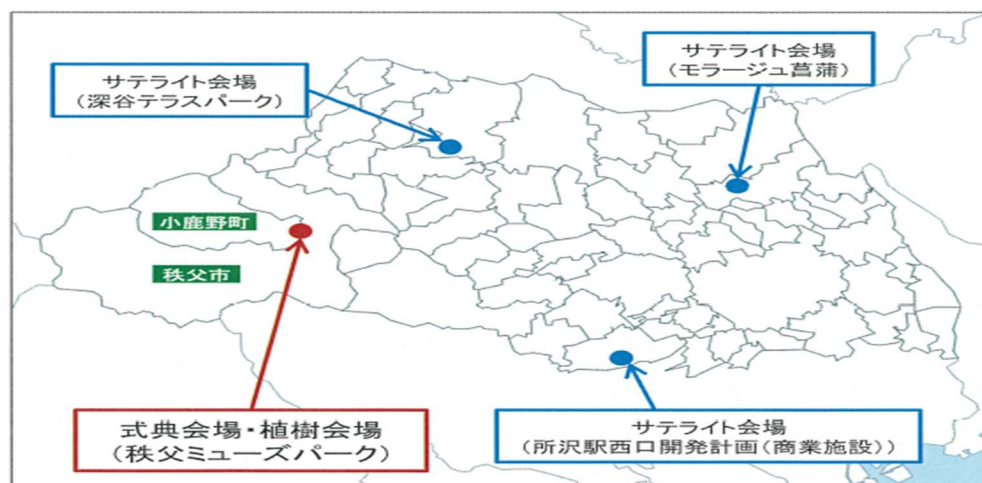
式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施します。
また、各種の展示PR等を行うおもてなし広場を設置し、招待者を歓迎します。

◆秩父ミュージズパーク (秩父市、小鹿野町)



秩父ミュージズパークは、秩父市と小鹿野町にまたがる豊かな自然環境に恵まれた長尾根丘陵に、音楽堂・野外ステージ、ミュージズの泉、大庭園などの芸術・文化施設、多彩なスポーツ施設があり、四季折々の自然とともに楽しめる公園です。

■ 開催会場位置図



千葉県議会議員 山本県部会相談役 小倉県部会長 横塚農林部長 米山副県部会長 小林副県部会長 渡部総務委員長



3. 埼玉建設新聞掲載記事

大会の成功を祈る 植樹祭へ寄付を贈る

関東土測協埼玉県部会

関東土地改良測量設計
技術協会埼玉支部会（小
倉敬翁支部会長）は13
日、5月25日に秩父ミュー
ーズパークで行われる、
第75回全国植樹祭・埼玉
2025へ寄付金を贈っ
た。

当日は、小倉支部会長
のほか、小林武・米山一
之の両副支部会長、渡部
聖次総務委員長、山本正



横塚部長へ目録を渡す小倉支部会長
(左から3人目)

直支部会相談役（同協会
会長）、顧問を務める県
議会議員の千葉達也氏ら
が県庁を訪れ、横塚正一
農林部長へ目録を手渡し
た。

横塚部長は「大変あり
がたく、感謝を申し上げ
る。66年ぶりの大会が成
功に終わるよう、大切に
使わせていただきたい」と
と御礼と抱負を述べた。

小倉支部会長は「県と
しても国体と並ぶ一大イ
ベントと位置付けてい
る。みんなで盛り上げて
いければ」と大会の成功
に期待を寄せた。

4. 参考

植樹祭協賛会社、団体一覧表⇒以下のとおり

※堂々と埼玉県部会も名前を連ねています。(一覧表赤枠)

			
			
			
			
埼玉県造園業協会	公益財団法人 三菱UFJ環境財団	秩父もみじ	株式会社 しょうがのむし
株式会社スプラウト	埼玉県森林協会	毎日興業株式会社	埼玉県林業経営者協会
見沼代用水土地改良区	旭工榮株式会社	井上一寛税理士事務所	株式会社デリモ
一般社団法人 山守学舎	国土防災技術 株式会社	秩父木材協同組合	株式会社榊住建
公益社団法人 埼玉県公園緑地協会	埼玉県土地改良事業団体連合会	東京応化工業株式会社 熊谷工場	シンテック株式会社 長瀬本社
		株式会社秋山建設	株式会社田村工業所
		弓削多醤油株式会社	さいたま県産材 住宅促進センター
			日本環境マネジメント 株式会社
			長栄建設株式会社